

令和8年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第8回研修を開催しました

岩手県農業公社就農支援部では、6月19日（金）・20日（土）、雫石町南畑のコテージむらにおいて第8回研修を開催しました。

講義では、指導員から「病害虫・雑草防除」の概要やえだまめの栽培方法が説明されました。発病の3要因、連作障害の回避策、農薬の安全な取扱いや調製方法が解説されたほか、えだまめの特性を踏まえた元肥過剰への注意、は種後の鳥害対策、短い収穫適期への留意点など現場管理の要点を説明しました。

実習では、パイプハウスにおいて、トマトのわき芽かきや支柱への誘引、背負い式噴霧器を用いた農薬散布を実施しました。一連の防除対策や安全な取扱いについて、受講生は指導員の説明に熱心に耳を傾けていました。

また、露地ほ場ではピーマンやなすの支柱立

て、ブッキーニの摘果、三角ホーを用いた除草のほか、個人畝へのえだまめのは種を行いました。さらに昨年度の受講生が定植した、たまねぎの収穫を体験。今年度初の収穫作業となり、大きく育ったたまねぎを嬉しそうに収穫していました。

今回の講義は専門性が高く、その場での質問は挙がりませんでしたが、毎回の受講アンケートには変わらず熱心な質問が多数寄せられ、これまでの研修同様に強い意欲がうかがえました。

次回の第9回研修は7月3日（金）・4日（土）に同会場で開催します。外部講師をお招きし、刈払い機の安全操作についての講義や実習を行う予定です。



個人管理畝にえだまめをは種する受講生



なすの株を支柱に誘引する受講生



針金支柱へトマトの株を誘引する受講生



たまねぎを収穫する受講生